患者さまへのお知らせ・お願い

□ロビーコンサートのお知らせ

- ４月１４日（金）　池内　光子さん　　アコーディオン演奏会
- ４月２６日（水）　丹羽　千夏さん他　ピアノ・クラリネット演奏会
- ５月１５日（月）　内田　ゆう子さん他　ピアノ・ギター演奏会
- ６月　９日（金）　戸島　郁子さん他　　ピアノ演奏会（連弾）

中央棟１階会計前ロビーにて開催いたします。３０分間の演奏会です。是非お越しください。
スケジュールの変更等がございましたら、ピアノ前掲示板および病棟掲示板にてご案内いたしますので、ご確認ください。　また、演奏会当日には、ピアノ前掲示板にて、演奏会プログラム(演者と曲目紹介)を掲示いたします。

□公開講座のお知らせ

平成１８年度第１回目となる昭和大学横浜市北部病院公開講座の企画をいたしました。下記演題で開催を予定しております。聴講をご希望される方は応募の方法をご確認のうえ、往復はがきにてお申込みください。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 日時：平成１８年5月１３日（土）
- 場所：西棟４階　診療放射線専門学校講堂
- 定員：各講演とも１００名（定員を超えた場合には抽選となります）
- 講演①　１３：３０～１５：００
  演題『これからの人間ドック　～ＰＥＴの有用性とその限界～　』
  演者：武中 泰樹 医師（放射線科・助教授）　　司会　新井　一成 医師（外科・教授）
- 講演②　１５：００～１６：３０
  演題『アトピー性皮膚炎』
  演者：宋　寅傑 医師（皮膚科・専任講師）　　司会　島田　誠 医師（泌尿器科・教授）
- 応募方法：①往復はがきにて、必要事項を記載のうえご郵送ください。
  必要事項：希望演題、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号)の５項目
  ※返信用の面にもご住所のご記載をお忘れないようお願いいたします。
  ②申込み受付期間：平成１８年４月３日（月）～5月８日（月）最終日必着
  ③問合せ先：昭和大学横浜市北部病院管理課内公開講座担当
  〒224-8503　神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央３５－１
  電話：０４５－９４９－７０００（代表）
- 注意事項：①１枚のはがきにて、１名様１講演のお申込み受付となります。２つの講演を希望される方は２枚おはがきが必要となります。ご夫婦でお申込みの場合も１枚ずつでお申込みが必要となります。
  ※はがきは受講票となりますので、必ずお１人１枚でお申込みください。
  ②各講演とも受付期間終了後、定員を超えた場合には、厳選なる抽選と行います。当落のご連絡は５月９日(火)以降順次返信はがきをご郵送いたします。また、電話でのお問合せ、照会等は一切お答えいたしかねます。ご了承ください。
  ③公開講座当日、ご欠席される場合は、事前に上記担当までご一報ください。

編集後記

風のにおいが変わり、暖かい季節がやってくるのを感じます。
さて、毎年５月 12 日はﾌﾛｰﾚﾝｽﾅｲﾁﾝｹﾞｰﾙの誕生日にちなんだ「看護の日」です。旧厚生省により 1990 年に制定されて、看護の日週間には看護にふれていただく機会として全国的に催しが行われています。当院でも例年５月に半日間で「看護ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ」を行っており、本年度も当看護職員による血圧や体脂肪測定、車椅子乗車体験、健康相談などを行う予定です。例えば皆さま、自分の肥満度をご存知ですか？実際に知らされるとびっくりすることもあります。日頃から健康の維持、増進にも気を配りたいものですね。

広報委員会　委員　大崎　千恵子

北部病院だより　第３８号
平成１８年４月３日発行
発行責任者　田口　進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者　島田　誠(広報委員会　委員長)
発行　昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503　横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL：http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

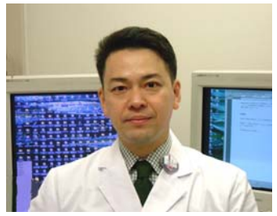
北部病院だより　第38号

第 38 号【2006/4/3 発行】
発行者：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言
『　「がん」治療ってなんだろう。　』
放射線科 助教授　馳澤憲二
●イベント情報
昭和大学ｲﾝﾌｪｸｼｮﾝｺﾝﾄﾛｰﾙﾌｫｰﾗﾑ
献血
●外来担当表
●診療統計
●医師の配属・異動・退職
●診療報酬の改定のご案内
●患者さまアンケート集計報告
●患者さまへのお知らせ・お願い
ロビーコンサートのお知らせ
公開講座のお知らせ
●編集後記

さくら咲き誇る季節になりましたね。

巻頭言　『　「がん」治療ってなんだろう。　』



放射線科
助教授
馳澤　憲二

放射線による「がん」治療の歴史は百年にも及び、私自身が治療を始めてからでも既に二十年になります。直接に自身で計画して治療をした人だけでも数千人を数え、間接的には数万の症例はみてきましたが、まだ「がん」もその治療も本質的には理解できていない気が致します。

「がん」には様々な種類がありその経過は非常に多くのバリエーションがあります。同じ部位、同じステージ、同じ組織型であっても皆同じ経過をとるわけでは在りません。元々の細胞自体が人により異なる訳ですからある意味当然の事なのですが、このことはつい見逃してしまいがちです。例えば我々は２５歳男性の平均余命を予測することは出来ますが、目の前にいる２５歳の男性 A さんが幾つまで生きるかは分からないのと同じです。「分からないことは分からない」と捕らえるのが科学的な視点と言うものでしょうが、数をこなしているとつい分かった気になってしまうのが怖いところです。

最近また「医療ミス」などの報道が増えていますが「わからないこと」を「わかっている」と思い込み、「できないこと」を「できる」と錯覚することが原因になっていることも多いのではないでしょうか。医師としては「患者さんが何を望んでいるのか」を知り、その中で「医療として出来ることは何か」を考え「その中でいま自分にできることは何か」をしっかり把握することが大事なことだと思います。今はネットなどで情報が簡単に手に入る時代ですが、ファイルをコピーすることとファイルの中身を理解することは全く別物です。打撃の本を読んでイチローの代わりに打席にたてると思う人はまずいないでしょうが、医療ではこの点を勘違いされていることが少なくないようです。医学教育においても教えることには力点を置いてきているようですが、こうした視点は欠けているように思います。本人が自覚し、努力と修練を積まないで身につく技術なんてあるのでしょうか。

「がん」から話がそれてしまいましたが、我々はつい「がん」という言葉の魔力に捕らえられ疾患の部分にしか目が行かなくなってしまいがちですが、「がん」は数ある疾患の一つに過ぎませんし、その人の人生の一部分にしか過ぎないのです。大事なことは患者さんが良い人生を送れることであり、我々はよきサポーターとなるのがあるべき姿ではないでしょうか。

最近はマニュアルが大流行で医療においても手順を予め決めそれに沿って治療を進めて行くのが良い医療だと考えられているふしもありますが、患者さんは本当にファストフードのチェーン店のような対応を求めて病院にやって来られるのでしょうか、求めておられるのはもっと人間的な対応ではないのでしょうか。医師が人として医療の現場にいる必要性とは患者一人ひとりにあった、出来る限り理想に近いオーダーメイドの医療を組み立てることではないのでしょうか。偶々生きてゆく過程で「がん」という壁にぶつかり、それをどう克服するか、その方策を一緒になって考え実行してゆく、それが正しい「がん」治療なのでしょう。

とりとめのないことを長々と書いてしまいましたが、なにか深刻な顔をして運命を司るかのように振舞うのが医師のあるべき姿のように誤解されている風潮があるので、なんとかこの雰囲気を払拭したいと思っております。ちなみに当科では「明るい『がん治療』」を心掛けており、訪れる人が心安らぎ、生きる活力を得て帰って頂くことを常に念頭において治療を進めております。幸いに良く治るという評判で全国から患者さんが来られますが、病を治すのは患者自身であり、我々は常に治療の良きパートナーとしてあることを願っております。

北部イベント

昭和大学インフェクションコントロールフォーラム　　西棟４階　講堂

２月２２日(水)に西棟４階講堂におきまして、第３回昭和大学インフェクション・コントロール・フォーラム（以後：ＩＣＦ）を開催いたしました。この長い名称は何？？と思われる方も多いかと思いますので概要をご紹介いたします。

昭和大学には８つの附属病院があります。それぞれの病院に、院内感染対策室（委員会）が組織されています。しかしながら、それぞれの病院で運用について取り決めを行っているため、運用も様々になっております。そこで、全ての附属病院の院内感染対策実務者（医師も看護師も技師も事務員も職種を問わず実務者）が年に数回集い、各病院の問題点や院内感染対策のための情報の共有化を図ることを目的として設立された組織それが、インフェクション･コントロール・フォーラム（Infection Control Forum：以後ＩＣＦ）です。

初回ＩＣＦは平成１７年３月に昭和大学病院で開催され、職業感染対策を主題に、沖縄県立中部病院感染症グループ遠藤和郎先生をお招きし、「あなたを守り、患者を守る職業感染対策」という講演会を開催しました。

第２回は平成１７年６月に藤が丘病院で開催されました。ＩＣＦメンバー各自で課題を持ち寄って発表をしました。

第３回は北部病院が会場となりました。毎回開催会場となる病院がＩＣＦの企画や運営等を行います。

毎回講演会や発表会の前には、主催病院の感染対策の現状をＩＣＦメンバーで巡視し問題がないかを評価しています。今回は、一般病棟、小児病棟、ＮＩＣＵ、集中治療室を講演会の演者の先生と共に巡視し評価を致しましたが、幸い問題になるようなことはございませんでした。

巡視後は国立感染症研究所感染症情報センターより森兼啓太主任研究官を演者にお招きし、「サーベイランスから見た役にたつ手術創感染対策」という演題で講演をしていただきました。効率的な感染対策は先ずは感染症を知ることから始まること、具体的な感染予防の秘訣まで解りやすい講演をいただきました。また、外科医の先生のお話であったため、詳細なエビデンスに基づくお話で説得力がありました。

参加者にとって医療技術はもとより感染対策の方策も日進月歩であり、常にアンテナを張って、最新の情報をキャッチしなくてはならないという事を身にしみて感じる講演会でした。次回の開催は紫陽花(あじさい)が咲き誇る頃に、昭和大学病院にて開催される予定です。

献血（血液センターからの依頼）　　西棟４階　講堂

献血と言って思い浮かべることは･･･？？演歌のプリンス氷川きよしさんがイメージキャラクターを担っているのはご存知の方も多いかと思います。でも皆さん、ご存知でしたか？年々血液の使用量は増加傾向にあるそうです。また、需要があるのですが、特に冬の寒い時季は献血協力者が著しく減少してしまうのだそうです。そこで血液センターでは、何とか医療機関に届けなければならない血液を確保するために、学校・病院・事業所や官公庁等の各方面に協力の依頼をなさっているそうです。確かに、病院や公共の場所(駅のロータリーなど)で献血バスを見かけることがありますよね。

北部病院におきましても、センターより協力依頼を受けまして、２月２７日（月）神奈川県川崎赤十字血液センターの方にお出でいただき、中央棟１階西口にて１０時から１６時まで献血が実施されました。

実は今回で４回目となりまして（例年２月と７月に依頼を受けております)、毎回、３０～４０名の方々に献血にご協力いただいております。

今後も当院では献血の協力をしていきますので、皆さまも、献血バスが停まっていること見かけましたらご協力がいただければと思います。

診療統計

2006 年 1 月統計データ( )内は 1 日平均

外来患者数 30,344 人(1,319.3 人) **入院患者数** 17,430 人(562.3 人) **救急車搬送**件数 520 人(16.8 人) **手術件数**件 439 件(23.1 件)

2006 年 2 月統計データ( )内は 1 日平均

外来患者数 29,601 人(1,287.0 人) **入院患者数** 17,191 人(614.0 人) **救急車搬送**件数 442 人(15.8 人) **手術件数**件 444 件(22.2 件)

⑨検査技師の対応

満足･･･33.1%
やや満足･･･10.4%
ふつう･･･17.5%
やや不満･･･0.6%
不満･･･0.0%
無回答･･･38.3%

⑩その他職員の対応

満足･･･33.8%
やや不満･･･16.9%
ふつう･･･20.1%
やや不満･･･1.9%
不満･･･0.6%
無回答･･･26.6%

⑪待ち時間

短い･･･5.2%
やや短い･･･9.7%
ふつう･･･34.4%
やや長い･･･29.9%
長い･･･12.3%
無回答･･･8.4%

⑫院内表示･案内板

分かる･･･53.2%
ほぼ分かる･･･24.0%
ふつう･･･11.0%
少し分かりづらい･･･3.2%
分からない･･･0.6%
無回答･･･7.8%

⑬危険な個所

特にない･･･83.8%
ある･･･2.6%
無回答･･･13.6%

⑭病院だより

毎回見ている･･･5.8%
ほぼ見ている･･･8.4%
見た事がある･･･32.5%
見た事がない･･･47.4%
無回答･･･5.8%

⑮病院ホームページ

よく見ている･･･1.3%
定期的に見ている･･･2.6%
見た事がある･･･34.4%
見たことがない･･･53.9%
無回答･･･7.8%

⑯ＰＥＴ検査

知っている･･･26.6%
知らない･･･62.3%
無回答･･･11.0%

ＰＥＴ検査を知っているとご回答の方へ
ＰＥＴ検査を希望しますか？

希望する･･･21.4%
希望しない･･･8.4%
分からない･･･59.7%
無回答･･･10.4%

※ご要望・ご意見等ご記載の欄にいただきましたものを少し紹介させていただきます。

□予約の取消し･変更をしたくて電話しても「混んでいるのでしばらくたって」のテープが流れるのみで、10 回位しても出なかった。代表の 7000 番にかけても延々と鳴り続けて止めた。大変な状況の人は困るな、と思った。

□西棟地下 2～3 階の駐車場、常に警備員が必要。

□危険だなと思う個所は、受付前の椅子と椅子の間が狭い。杖をついているので真ん中の椅子の所までいけない。

□最近は定期的に検査に来るだけですが、昨年までは通院が多く、安心してお任せ出来る病院だと安心しています。これからもよろしくお願いいたします。職員の方々みな言葉が丁寧で、態度も柔らかく年寄りには感謝です。

□外来で抗がん剤の治療を受ける際、もう少しお部屋が広いといいなと思います。男女別にして(例えばカーテンで仕切る等)してもらえるといいな。トイレも男女別が良いです。ステキな病院。皆が頼れる病院になるよう、これからの発展を願っています。

上記いただきました、ご意見・ご要望につきましては、対応策等検討させていただきまして、次号以降の病院だより等でご案内させていただきます。

今後も、年に何回か、患者さまのお声を伺わせていただきたく、アンケートのご協力をいただくかと思います。その際は、どうぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

外来患者さまアンケート報告

当院では外来患者さまアンケートを毎年行っております。今年度は、１月２０日（金）に外来の患者さまにアンケートをお願いし、154 名の患者さまにご協力をいただきました。

患者さまからの直のお声を伺うことで、スタッフ一同真摯に受け止め、今後の改善の課題とさせていただいております。患者さまが当院の提供している医療に対してどの程度満足されているのか、日頃お思いになられていること、感じられていることをお聞かせいただきました。今回のアンケートの集計を報告させていただきます。

□アンケート配布場所　　中央棟１階再来受付機・会計機付近　および　中央棟２階再来受付機付近

□アンケート配布時間　　午前９時～午前１１時３０分

＜アンケート結果＞

□来院方法　　電車･･･26.0%　徒歩･･･7%　バス･･･14%　自家用車･･･41%　自転車･･･7%　その他･･･3%

□年齢層　　20 歳未満･･･4%　20 歳代･･･3%　30 歳代･･･12%　40 歳代･･･15%　50 歳代･･･15%　60 歳代･･･19%
70 歳代･･･23%　80 歳以上･･･5%

①本院の受診回数
初めて･･･7.1%
初めてではない･･･90.3%
無回答･･･2.6%

②予約の有無
予約有･･･85.7%
予約無･･･11.7%
無回答･･･2.6%

③受付の対応
良い･･･59.1%
やや良い･･･10.4%
ふつう･･･27.3%
やや悪い･･･1.3%
悪い･･･1.3%
無回答･･･0.6%

④診療の内容
満足･･･57.1%
やや満足･･･17.5%
ふつう･･･19.5%
やや不満･･･1.3%
不満･･･1.3%
無回答･･･3.2%

⑤医師の対応
良い･･･68.2%
やや良い･･･9.7%
ふつう･･･14.3%
やや悪い･･･1.9%
悪い･･･1.3%
無回答･･･4.5%

⑥医師の説明
分かった･･･72.1%
おおよそ分かった･･･22.1%
分からなかった･･･1.9%
無回答･･･3.9%

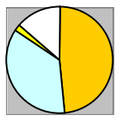
⑦看護師の対応について

周囲への気配り
満足･･･47.4%
やや満足･･･20.8%
ふつう･･･23.4%
やや不満･･･1.3%
不満･･･0.6%
無回答･･･6.5%

ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ保護への配慮
満足･･･41.6%
やや満足･･･15.6%
ふつう･･･33.8%
やや不満･･･1.3%
無回答･･･7.8%

接する前の自己紹介
紹介された･･･32.6%
紹介されていない･･･31.2%
不明･･･13.6%
無回答･･･18.2%

お話を聞く姿勢
聞いてくれた･･･48.7%
ふつう･･･35.7%
聞いてくれなかった･･･1.9%
無回答･･･13.6%



環境作りへの配慮
配慮されている･･･46.1%
ふつう･･･37.7%
配慮されていない･･･1.9%
無回答･･･14.3%

⑧放射線技師の対応
満足･･･25.3%
やや満足･･･8.4%
ふつう･･･14.9%
やや不満･･･0.0%
不満･･･0.0%　　無回答･･･51.3%

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。　　平成 18 年 4 月 1 日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器ｾﾝﾀｰ	鹿間裕介(初診)	医局員(初診)	中島宏昭(紹介初診)	中島宏昭(再診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初診)	鹿間裕介(再診)	笠原慶太(初診)	佐藤庸子(再診)	医局員(初診)	医局員(初診)
	笠原慶太(初診)	笠原慶太(再診)	鹿間裕介(再診)	医局員(初診)	中神和清(再診)		笠原慶太(再診)		北見明彦(初診)		
	北見明彦(再)						医局員(初)		中島宏昭(再)	中島宏昭(再)	
消化器ｾﾝﾀｰ		大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子	請川淳一	請川淳一	井上晴洋	井上晴洋	大塚和朗	大塚和朗	土曜初診１
	小林泰俊	小林泰俊	医局員		松下達彦	松下達彦	出口義雄		為我井芳郎(第１)		
	医局員(初)	工藤恵子		工藤由比	医局員(初)	福原貴太郎	笹島圭太	笹島圭太	医局員(初)	池原伸直	里舘　均
			樫田博史	樫田博史	若下方影(第２)		樫田博史	山村冬彦	三並　敦	三並　敦	
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英		石田文生	橋本雅彦	医局員(初)	工藤由比	遠藤俊吾	遠藤俊吾	土曜初診２
					三並　敦	日高英二		工藤進英(特殊診)			
循環器ｾﾝﾀｰ	緒方信彦	丸田一人	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木　浩		芦田和博	伊藤篤志	医局員
			磯村直栄		大動脈外来					西巻博(第３)	
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般 統合失調症)		吉益晴夫(精神全般・記憶障害・ｱﾙｺｰﾙ症)		堀　宏治(精神全般 認知症)		秋元洋一(精神全般 統合失調症)		西岡玄太郎(精神全般)		伊川(奇) 青山(偶)(精神全般・うつ病)
メンタルケア(再)	板垣太郎		秋元洋一		西岡玄太郎		吉益晴夫		工藤行夫		堀　宏治
メンタルケア(再)	谷　将之		太田晴久		山本英樹		黒澤顕三		青山　洋		小城幸乃
メンタルケア(再)			医局員		伊川太郎	堀　宏治(物忘れ外来)	医局員				医局員
内科(緩和ケア)										中村明央	
内　科(23-2)	山田真帆(2,4)(内科消化器)	山本真寛(一般内科)			菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内　科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋　健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内　科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)		福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)		三代川章雄(内科消化器)
内　科(25-1)	稗田宗太郎(内科神経)			中山文義(腎)(第１火休診)	稗田宗太郎(内科神経)		滝西安隆(一般内科)				滝西安隆(内科一般)
内　科(25-2)		井上　穣(内分泌･代謝)			木村　聡(内科・感染症)						医局員
内　科(25-3)	田口　進(内科消化器)		田口　進(内科消化器)	田口　進(内科消化器)			田口　進(内科消化器)		田口　進(内科消化器)		渡邊浩之(一般内科)
内　科(25-5)	荏原　徹(糖尿病･内分泌)		嶋田　顕(内科腫瘍)		荏原　徹(糖尿病･内分泌)		嶋田　顕(内科腫瘍)	嶋田　顕(内科腫瘍)	荏原　徹(糖尿病･内分泌)	冨田高重(第１内科消化器)	荏原　徹(糖尿病･内分泌)
内　科(25-6)	吉田典世(一般内科)			吉田典世(一般内科)	女性専門外来(予約のみ)		緒方浩顕(内科腎臓)				緒方浩顕(内科腎臓)
内　科(25-7)		内田奈名子(一般内科)	辻　正富(糖尿病･内分泌)	辻　正富(糖尿病･内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	内田奈名子(一般内科)	辻　正富(糖尿病･内分泌)	辻　正富(糖尿病･内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻　正富(糖尿病･内分泌)
小　児　科	野中善治	神経外来	梅田　陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来	梅田　陽	乳児検診	医局員
小　児　科	曽我恭司	予防接種	曽我恭司	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ外来	梅田　陽	腎臓外来(1,3)	曽我恭司	ｱﾚﾙｷﾞｰ外来	京田学是	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ外来	医局員
小　児　科	高野忠将		野中善治	血液内科(4)	京田学是	心理相談	松岡　孝	口腔発達(2,3)心理相談	高野忠将	上村茂(心臓)	医局員-
小 児 外 科		杉山彰英		大橋祐介		五味　明		大橋祐介		五味　明	杉山彰英(奇) 医局員(偶)
皮膚科（初16-3）	宋　寅傑		濱口太造				濱口太造		宋　寅傑		医局員
皮膚科（再16-1）	濱口太造		宋　寅傑		濱口太造					光線療法外来	
皮膚科（再16-2①）	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	佐々木雅美	外科手術		外来手術	佐々木雅美	外来手術	医局員
皮膚科（再16-2②）	松村卓美		松村卓美				松村卓美		松村卓美		
外　科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成	井関雅一(偶)	中村明央		中村(奇) 新井･山﨑(偶)
外　科			福成信博		山﨑智己		木庭雄至(予約のみ)	兼坂　茂(予約のみ)	福成信博	岩波正英(偶)	
形成外科	大塚尚治	美容外科	【手術日】				［手術日］		大塚尚治		大塚尚治(奇)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	医局員		池田尚人	退院後外来	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝 池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)			池田尚人 飯田昌孝								池田尚人(奇)
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診予約のみ	古梶正洋		松久孝行	ギプス診予約のみ	古梶正洋		定方博史		医局員
整形外科	川崎恵吉		齋藤　元		定方博史		川崎恵吉		齋藤 元		
産婦人科初診(12-7)	鈴木紀雄(奇) 安藤直子(偶)		高橋　諄(苅部瑞穂)		高橋　諄(御子柴尚郎)		小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科産科Ⅰ(12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄		
産婦人科産科Ⅱ(12-6)	高橋　諄 苅部瑞穂			特殊診予約のみ			御子柴尚郎			特殊診予約のみ	
産婦人科婦人科Ⅰ(12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診予約のみ	近藤哲郎		高橋　諄		安藤直子	特殊診予約のみ	医局員
産婦人科婦人科Ⅱ(12-6)			苅部瑞穂		御子柴尚郎				栗城亜具里		
泌尿器科(初診 11-1)	佐々木春明	椎木(検査)予約のみ	椎木一彦		菅原　草	深澤(再診)予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一(再診)	島田　誠	佐々木春明(男性外来予約)	医局員(初再診)
泌尿器科(再診 11-3)	島田　誠	島田(女性外来予約のみ)	菅原　草		青木慶一郎	青木(検査)予約のみ	椎木一彦	菅原(検査)予約のみ	佐々木春明	黒澤(検査)予約のみ	
泌尿器科(検査 11-5)		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ	
眼　科	井上吐州	特殊診(井上	小池正直	特殊診(中村	井上吐州		小池正直	特殊診(小池	井上吐州		小池正直(奇) 中村　徹(偶)
眼　科	中村 徹		中村 徹	特殊診(小倉	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉	中村 徹	特殊診(中村	井上吐州(奇) 岡田法子(奇)
眼　科	岡田法子	特殊診(岡田	岡田法子				岡田法子	特殊診(岡田	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)
耳鼻咽喉科13-2①	門倉義幸(初診)	膵臓甲状腺外来予約のみ	石田　良(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来予約のみ	油井健史(初診)	いびき外来予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2②	大嶋健三郎(再診)			ﾚｰｻﾞｰ外来予約のみ			門倉義幸(再診)				
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎(再診)	小児外来予約のみ			石田　良(再診)				
耳鼻咽喉科13-5	油井健史(再診)		島本久美子(再診)			補聴器外来Ｋ予約のみ		補聴器外来予約のみＮ	歯科装具予約のみ		

◎　放射線治療の外来日は、月火木金:　馳澤憲二医師です。
◎　リハビリ科外来日は、　火曜日午後:　真野英寿医師です。

※皮膚科 水曜日 初診外来をしばらくの間休診とさせていただきます。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師（順不同）　4/1付【2/2～4/1】

《附属病院より》　９名

丸田　一人（循環器ｾﾝﾀｰ）
昭和大学医学部
第１外科学教室より

浜谷　茂治（病理科）
昭和大学医学部
第１病理学教室より

昭和大学藤が丘病院
精神神経科より

杉山　朋子（病理科）
昭和大学医学部
第１病理学教室より

藤巻　孝一郎（こどもｾﾝﾀｰ）
昭和大学医学部
法医学教室より

井上　吐州（眼　科）
昭和大学医学部
眼科学教室より

伊川　太郎（ﾒﾝﾀﾙｹｱｾﾝﾀｰ）
昭和大学医学部
精神医学教室より

板垣　太郎（ﾒﾝﾀﾙｹｱｾﾝﾀｰ）
昭和大学医学部

大嶋　健三郎（耳鼻咽喉科）
昭和大学医学部
鼻咽喉科学教室より

《他病院より》　１５名　※昇進採用・長期出張明け採用は除く

長山　裕之（消化器ｾﾝﾀｰ）
昭和大学
平成３年度卒

出口　義浦（消化器ｾﾝﾀｰ）
新潟大学
平成５年度卒

工藤　由比（消化器ｾﾝﾀｰ）
杏林大学
平成10年度卒

伊藤　篤志（循環器ｾﾝﾀｰ）
岡山大学
平成６年度卒

伊東　友弘（内　科）
昭和大学
平成７年度卒

斎藤　由理（消化器ｾﾝﾀｰ）
秋田大学
平成３年度卒

工藤　恵子（消化器ｾﾝﾀｰ）
久留米大学
平成６年度卒

福原　貴太郎（消化器ｾﾝﾀｰ）
京都大学
平成７年度卒

池原　伸直（消化器ｾﾝﾀｰ）
大阪医科大学
平成９年度卒

木田　裕之（消化器ｾﾝﾀｰ）
関西医科大学
平成12年度卒

竹村　繊江（消化器ｾﾝﾀｰ）
岡山大学
平成15年度卒

土肥　聡（救急ｾﾝﾀｰ）
北里大学
平成16年度卒

太田　晴久（ﾒﾝﾀﾙｹｱｾﾝﾀｰ）
昭和大学
平成14年度卒

黒澤　眞三（ﾒﾝﾀﾙｹｱｾﾝﾀｰ）
東海大学
平成12年度卒

土屋　静馬（救急ｾﾝﾀｰ）
昭和大学
平成15年度卒

中澤　あい（内　科）
和歌山県立医科大学
平成15年度卒

鎌田　理恵（外　科）
東京女子医科大学
平成13年度卒

国井　健太（外科）
札幌医科大学
平成15年度卒

異動・退職医師（順不同）　3/31付【2/1～3/31】

《　配置転換　》

- □ 橋本　雅彦　（消化器ｾﾝﾀｰ　⇒　救急ｾﾝﾀｰ）

《　異　動　》

- □ 新谷　隆　（消化器ｾﾝﾀｰ　⇒　昭和大学医学部第２外科学教室へ）
- □ 齋藤　光次（病 理 科　⇒　昭和大学医学部第１病理学教室へ）
- □ 真田　建史（ﾒﾝﾀﾙｹｱｾﾝﾀｰ ⇒　昭和大学東病院精神神経科へ）

《　長期出張　》

- □ 野口　知子（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 細谷　寿久（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 若村　邦彦（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 児玉　健太（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 佐々木　廣仁（消化器ｾﾝﾀｰ）

《　退　職　》

- □ 松田　正典（呼吸器ｾﾝﾀｰ）
- □ 深澤　立（泌尿器科）
- □ 永田　浩一（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 松丸　憲太郎（ﾒﾝﾀﾙｹｱｾﾝﾀｰ）
- □ 三上　哲弥（内　科）
- □ 玉井　裕子（眼　科）
- □ 小鷹　紀子（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 工藤　謙太郎（ﾒﾝﾀﾙｹｱｾﾝﾀｰ）
- □ 鈴木　美奈子（放射線科）
- □ 加藤　博久（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 加藤　源太郎（循環器ｾﾝﾀｰ）
- □ 藤井　隆成（こどもｾﾝﾀｰ）
- □ 徳丸　岳志（耳鼻咽喉科）
- □ 高瀬　博康（呼吸器ｾﾝﾀｰ）
- □ 鎮西　亮（消化器ｾﾝﾀｰ）
- □ 神埼　温子（外　科）

診療報酬の改定のご案内

健康保険法等の規定に基づき、平成１８年４月１日（土）より診療報酬の改定が行われました。
今回は次の視点から様々な改定がなされました。

① 患者から見て分かりやすく、患者の生活の質（ＱＯＬ）を高める医療を実現する視点
② 質の高い医療を効率的に提供するために医療機能の分化・連携を推進する視点
③ 我が国の医療の中で今後重点的に対応していくべきと思われる領域の評価の在り方について検討する視点
④ 医療費の配分の中で効率化余地があると思われる領域の評価の在り方について検討する視点

これにより、現在、患者様がお支払されている窓口一部負担金（一般成人の場合、３割負担）が変わることとなり、これまでと同じ診療内容であってもお支払いただくご負担額が異なる場合等ございます。

ご不明な点につきましては、１階１２０番会計窓口までお問い合わせ願います。　なお、今後本改定にかかる患者さまへのインフォメーションにつきましては、院内掲示および病院だより等でお伝えしてまいります。